

はくぶつかん おうちで博物館ぬりえ かいせつ

【002 あんこうひかるせんせい】

かい せつ 説：「あんこうひかるせんせい」とは、はくぶつかん 博物館のガイドブック『よこすか 横須賀市自然・じんぶんはくぶつかん 人文博物館ワクワクたんけんガイド』にとうじょう 登場するキャラクターのひとつです。このキャラクターは、はくぶつかんしぜんぶもん 博物館自然部門のロゴマークをもとに、2019ねん 2019年にだいがくせい 大学生たちによってせいさく 制作されたものです。博物館のことをおし 教えるせんせい 先生をイメージして、しじ 指示ぼう 棒を持っているのがポイントです。

キャラクターのモデルになっているチ

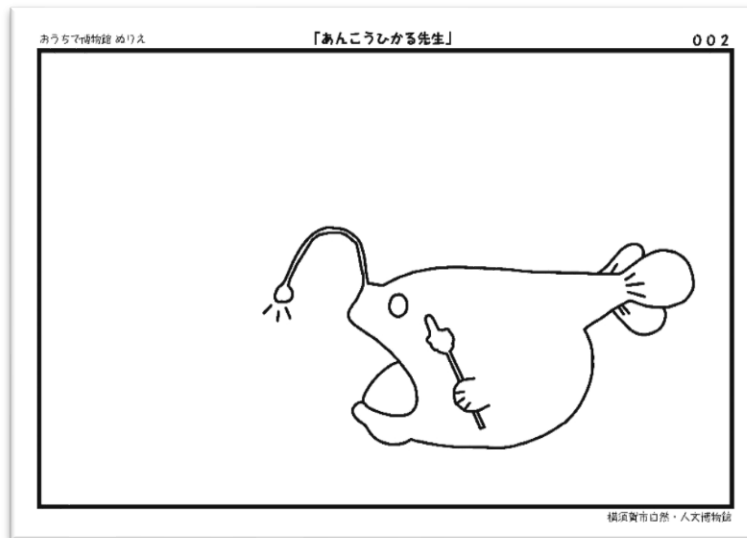
ョウチンアンコウは、たいせいよう ちゆうしん 大西洋を中心としたしんかい せいそく 深海に生息していて、にほんきんかい 日本近海ではたいへん まれです。あたま うえに背びれがへんか へんかしたつりざお 釣り竿のようなものがあり、そのせんたん 先端には「エスカ」と呼ばれるきかん 器官が、バクテリアの共生によってひかり 光り、つつか 釣りで使われるルーア ーのような役割をしていて、ひかり さそ 光に誘われた魚を丸のみにします。

「エスカ」からはまた、ひか えきたい はつしゃ 光る液体が発射されることが知られています。メスはぜんちよう 全長50 cmほどになりますが、オスはちい ちいぜんちよう 全長5 cm程度にしかありません。

てん じ 示：チョウチンアンコウは、しぜんかん 自然館1階「せいぶつ 深海の生物」や、はっこうせいぶつ 発光生物のコーナーで見られます。

たい しょう 象：みしゅうがくじ 未就学児～しょうがっこう 低学年（1～3年生）向け。

こ つ ツ：はくぶつかん 博物館のことにくわしい先生なので、はくぶつかん 博物館のいろいろなひょうほん 標本やてんじ 展示をとうじよう 登場させてもオモシロそうですね。



ぬりえ図案「博物館ロゴ」（実際はA4判）



チョウチンアンコウとタカアシガニ
（自然館1階「深海の生物」）